

働き方改革通信😊

No. 4 令和元年(2019年)12月17日発行

発行：函館市教育委員会学校教育課

教育政策推進室教育政策課 Tel: 21-3523
gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

各学校の業務改善の取組のようすをお伝えします😊

平成29年12月に「教職員の業務改善のための取組」を策定し、まもなく2年が経過します。「他校はどんな業務改善の取組を進めているのだろうか?」「自校でもできるところから業務改善を進めてきたけど、他にどんなことができるだろうか?」と考えられている先生方へ、今回は、各校の取組をいくつかお伝えします。

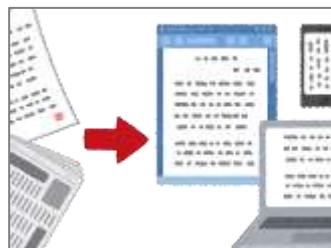
A学校😊



Office365を活用しアンケートを実施しました!

今年度の保護者アンケートで活用しました。簡単に作成でき、回答が自動で集約されるので、とても便利でした!

また、スマートフォンからも回答ができるため、保護者から、送り迎えのスキマ時間で回答することができたとの声もありました。



すでに多くの学校で実施されているようです。ある学校では合計35時間かかっていた集約作業が5分でできるようになったとのこと!業務の効率化だけでなく、利用する保護者にとっても便利になった事例です。運動会などの行事アンケートなどでも活用できそうですね。

B学校😊



日課表を見直し、放課後の時間にゆとりが持てました!

登校後の過ごし方などを見直したことで、部活動の開始や終了、完全下校の時刻を早めることができました。生徒は早い時刻で帰宅できるようになり、先生方は放課後の時間にゆとりが生まれました。

「日課表」の見直しにより、教員の放課後の業務時間を生み出すとともに、児童生徒の日常生活の充実にもつながった事例です。

C学校😊



ICカードによる出退勤管理を始めています!

昨年度から、ICカードを活用して出退勤の時刻を記録しています。

当初は戸惑いもありましたが、今では慣れて、楽しんで行っています。自分の在校時間を数字で見て、長時間勤務であることに驚き、仕事の内容や進め方の見直しをしています。



自身の在校時間を客観的に把握したことで、タイムマネジメントへの意識が高まった事例です。次年度からは、市内の全ての学校でICカードによる出退勤時間の記録が始まります。

C4th 導入に向けた「個別説明会」が各校で開催されています!😊

次年度4月からの校務支援システム（C4th）の本格運用に向け、10月23日から各校で個別説明会が始まっています。12月上旬には約半分の学校で個別説明会が終了し、順次試験運用に入っています。

個別説明会では、(株)EDUOCMの担当者から、C4thを操作する際の基本的事項や留意点について、各機能を先生方と一緒に操作しながら説明が行われます。特に「掲示板機能」では、実際に先生方が記事を書く場面があり、どの学校でもにぎやかに楽しみながらC4thを操作されていました。



「教職員アンケート」の結果について その2😊

今回は、勤務時間の変化についてです。

Q: 勤務時間はどのように変化していますか。

【校種別グラフ】



【職種別グラフ】



<左から、青色（減っている）赤色（やや減ってる）緑色（変わらない）紫色（やや増えている）水色（増えている）オレンジ（無回答他）>

○減っている、やや減っている主な理由：ICTの活用や会議の効率化など学校運営体制の充実等

●増えている、やや増えている主な理由：新学習指導要領への対応やいじめ、不登校等への対応等

働き方に対する意識が高まっているのに比べ、勤務時間の変化については、減少していると回答した割合は多くはないことから、今後も引き続き業務改善の取組を進めていく必要があると考えています。令和元年度の教職員アンケートは、来年2月にインターネットを活用して実施する予定です。皆様のご協力をお願いします。

🔄🔄🔄 次年度に向けて…😊

「働き方改革」は、一人ひとりの働き方を見直し、よりよい働き方を模索するプロセスであり、「学校における働き方改革」では、その見直しが「学校教育目標へつながるものであるか」、「教員、児童生徒双方にとってやってよかったといえるものであるか」という視点が大切であると本通信 No.2でお伝えしました。

これらの視点は、学校評価の視点と重なるものです。学校評価や準備委員会など既存の取り組みを生かして、学校の資源である人・もの・こと・時間について見直すことが、業務改善につながります。

「教職員の業務改善のための取組」や「学校閉庁日」は[市ホームページ](#)からご覧いただけます😊

このほか、「こういう情報がほしい」などのご要望がありましたら、教育政策課にお知らせください。